



石綿を吸い込むと肺に突き刺さり、
20～30年の潜伏期間を経て「石綿肺」として発症。
絶対に治ることなく、死に至る。

ニッポン国 VS 泉南石綿村

監督：原一男
製作：小林佐智子

撮影：原一男 | 構成：小林佐智子 | 編集：秦岳志 | 整音：小川武 | 音楽：柳下美恵 | 制作：島野千尋 | 助成：大阪芸術大学芸術研究所 JSPS科研費
製作・配給：疾走プロダクション | 配給協力：太秦 | 宣伝協力：スリーピン
©疾走プロダクション

<http://docudocu.jp/ishiwata>

SENNAN ASBESTOS DISASTER

『ゆきゆきて、神軍』から31年。「平成」という時代のニッポン人の自画像を描きました。——原一男

原一男監督 最新作

ニッポン国 VS 泉南石綿村

初めて国に勝った泉南の一握りの原告たち
しかし、勝っても勝っても
地裁、高裁、最高裁へと
国は逃げ続ける

あまりに優しすぎる原告たち
「なぜもっと怒らないのか！」原一男の檄が飛ぶ

とんがっている原一男監督。いいぞっ！

—— 金平茂紀 (ジャーナリスト、TBS「報道特集」キャスター)

長さが醸し出す、わかりにくい部分をわかりにくく提示してわからせる、という高度の技法。
原告同士の間にも生じる微妙な感情の行き違い、原告たちと弁護団の間にも生じる葛藤とか権力関係。
こんなものは短時間では絶対に伝わらないものだ。時間はカットされるべきという時代のなかで、
時間は積み上げられるべきだということを宣言した映画。ハラショー!!

興奮し涙し、インスパイアされる

—— 永田浩三 (武蔵大学教授、元NHKプロデューサー)

泉南アスベスト国賠訴訟に関わる、圧倒的な人間ドラマ。
政府を相手に闘うとはどういうことかが初めてわかる。
アスベスト被害と朝鮮半島とのつながりも、目から鱗だった。
原監督は、やっぱり原監督なのだった。

監督：原一男 『ゆきゆきて、神軍』『全身小説家』

製作：小林佐智子

撮影：原一男 | 構成：小林佐智子 | 編集：秦岳志 | 整音：小川武 | 音楽：柳下美恵 | 制作：島野千尋

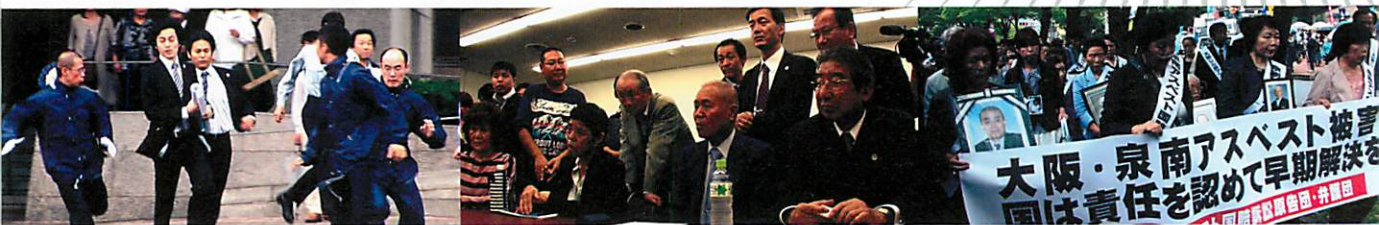
助成：大阪芸術大学芸術研究所 | JSPS科研費

製作・配給：疾走プロダクション | 配給協力：太秦 | 宣伝協力：スリーピン

2017年/215分/DCP/16:9/日本/ドキュメンタリー

©疾走プロダクション 公式HP <http://docudocu.jp/ishiwata>

圧巻の215分から目をそらさず、
泉南の叫びを聞き逃すなかれ！
「大阪・泉南アスベスト国賠訴訟」、
8年間の全記録。



2018年3月
ユーロスペースにて公開!

渋谷・文化村前交差点左折
ユーロスペース
EUROSPACE
tel.03-3461-0211 www.eurospace.co.jp

